

平成 28 年 度

補正予算提案理由書

一 般 会 計 補 正 予 算 (第 12 号)

国民健康保険特別会計補正予算 (第 5 号)

後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 4 号)

介護保険特別会計補正予算 (第 4 号)

公共下水道事業特別会計補正予算 (第 5 号)

生活排水処理事業特別会計補正予算 (第 3 号)

笠木簡易水道事業特別会計補正予算 (第 5 号)

水道事業会計補正予算 (第 5 号)

鹿 児 島 県 曾 於 市

平成28年度曾於市一般会計補正予算（第12号）

平成28年度曾於市一般会計補正予算第12号を提案しますが、今回の補正予算は、それぞれの事業の確定及び執行見込みによる精算的なものによる増減が主なもので、歳入については、交付金の追加や事業費の確定等による県支出金や市債等の減、財源調整による財政調整基金繰入金の減、収入見込みによる使用料や交付額の確定による普通交付税の追加が主なものです。

歳出については、事業費の確定及び執行見込みによる減額と曾於市の魅力増進プロジェクト施設整備事業や障害福祉サービス費等の追加が主なものです。

歳 入

第6款 地方消費税交付金 30,000千円の追加
交付見込みにより、30,000千円追加しています。

第8款 国有提供施設等所在市町村助成交付金 1,275千円の追加
交付額の確定による追加です。

第9款 地方特例交付金 2,092千円の追加
交付額の確定による減収補てん特例交付金の追加です。

第10款 地方交付税 455,113千円の追加
交付額の確定による普通交付税の追加です。

第12款 分担金及び負担金 7,053千円の減額
県営農村振興総合整備事業費分担金や現年発生農地災害復旧費分担金の減額が主なものです。

第13款 使用料及び手数料 10,734千円の追加
収入見込みによる過年度市営住宅使用料の追加が主なものです。

第14款 国庫支出金 167,338千円の減額
地方創生拠点整備交付金の追加と臨時福祉給付金給付事業費補助金や社会資本整備総合交付金の減額が主なものです。

第15款 県支出金 495,453千円の減額
過年発生農地・農業用施設災害復旧費補助金の追加と現年発生農業用施設災害復旧費補助金や経営体育成支援事業費補助金の減額が主なものです。

第16款 財産収入 10,802千円の減額

基金利息の確定による各基金利子の増減と区画整理事業保留地売払収入の減額が主なものです。

第17款 寄附金 249千円の追加

一般寄附金や図書購入基金寄附金の追加が主なものです。

第18款 繰入金 431,718千円の減額

財源調整による財政調整基金からの繰入金の減額が主なものです。

第20款 諸収入 28,306千円の減額

新規就農者支援対策事業費補助金返還金の追加や資源リサイクル畜産環境整備事業負担金の減額が主なものです。

第21款 市債 263,000千円の減額

魅力増進プロジェクト施設整備事業の追加や臨時財政対策債の減額が主なものです。

歳 出

第1款 議会費 9,156千円の減額

執行見込みによる減額です。

第2款 総務費 4,562千円の追加

事業費の確定及び執行見込みによる減額と曾於市の魅力増進プロジェクト施設整備事業の追加が主なものです。

第3款 民生費 56,237千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額と障害福祉サービス費の追加が主なものです。

第4款 衛生費 53,716千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額と水道事業会計繰出金の追加が主なものです。

第6款 農林水産業費 253,933千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額と有害鳥獣等駆除被害防止事業の追加が主なものです。

第7款 商工費 41,258千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額が主なものです。

第8款 土木費 106,268千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額と砂防費の追加が主なものです。

第9款 消防費 30,820千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額が主なものです。

第10款 教育費 67,188千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額と図書購入基金費の追加が主なものです。

第11款 災害復旧費 270,056千円の減額

事業費の確定及び執行見込みによる減額です。

第12款 公債費 20,137千円の減額

平成27年度借入の返済額確定による利子の減額と償還期間変更により元金を追加しています。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出904,207千円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ26,089,412千円となります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成28年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）

平成28年度曾於市国民健康保険特別会計補正予算第5号を提案しますが、今回の補正予算は、交付金等の収入見込みによるもので、歳入については、国庫支出金を60,988千円、療養給付費等交付金を89,803千円、繰入金14,102千円、繰越金144,326千円それぞれ減額し、共同事業交付金を105,332千円、県支出金を10,554千円追加するものが主なものです。

歳出については、交付決定により、介護納付金87,680千円、共同事業拠出金を75,970千円、保健事業費を7,072千円減額するものが主なものです。

歳 入

第1款 国民健康保険税 5,289千円の追加

収入見込みにより、国民健康保険税を5,289千円追加しています。

第2款 使用料及び手数料 364千円の追加

収入見込により、督促手数料を364千円追加しています。

第3款 国庫支出金 60,988千円の減額

国庫負担金は、収入見込みにより、介護保険給付費負担金を28,057千円、後期高齢者医療費支援金負担金5,570千円を減額し、療養給付費等負担金を2,906千円、療養給付費等負担金過年度分を14,844千円、高額医療費共同事業負担金を2,157千円追加しています。国庫補助金は、財政調整交付金を45,922千円減額するものが主なものです。

第4款 療養給付費等交付金 89,803千円の減額

交付決定により、療養給付費等交付金現年度分を132,415千円減額し、療養給付費等交付金過年度分を42,612千円追加しています。

第5款 前期高齢者交付金 1,890千円の追加

交付決定により、前期高齢者交付金現年度分を1,890千円追加しています。

第6款 県支出金 10,554千円の追加

県負担金は、収入見込みにより、高額医療費共同事業負担金を2,157千円追加しています。

県補助金は、普通県調整交付金を25,471千円減額し、特別県調整交付金を34,519千円追加しています。

第7款 共同事業交付金 105,332千円の追加

交付決定により、高額医療費共同事業交付金を59,271千円、保険財政共同安定化事業交付金を46,061千円追加しています。

第9款 繰入金 14,102千円の減額

他会計繰入金は、一般会計からの保険基盤安定繰入金を5,065千円、財政安定化支援事業繰入金を9,021千円、人件費繰入金を63千円減額し、事務費繰入金を47千円追加しています。

第10款 繰越金 144,326千円の減額
前年度繰越金を144,326千円減額しています。

第11款 諸収入 8,309千円の追加
延滞金・加算金及び過料は、収入見込みにより、保険税延滞金を3,590千円追加しています。
雑入は、一般被保険者第三者納付金を4,325千円を追加するものが主なものです。

歳 出

第1款 総務費 1,690千円の減額
執行見込みにより、一般管理事務費を946千円、総務職員給を63千円、賦課徴収事務費を326千円、運営協議会費を172千円、趣旨普及費を183千円減額しています。

第2款 保険給付費 2,900千円の減額
執行見込みにより、審査支払手数料を1,000千円、一般被保険者高額介護合算療養費を1,500千円減額するものが主なものです。

第3款 後期高齢者支援金等 2,137千円の減額
事業費決定により、後期高齢者支援金を2,137千円減額しています。

第4款 前期高齢者納付金等 4千円の追加
事業費決定により、前期高齢者納付金を4千円追加しています。

第5款 老人保健拠出金 36千円の減額
事業費決定により、老人保健拠出金を36千円減額しています。

第6款 介護納付金 87,680千円の減額
事業費決定により、介護納付金を87,680千円減額しています。

第7款 共同事業拠出金 75,970千円の減額
事業費決定により、保険財政共同安定化事業拠出金を84,597千円減額し、高額医療費拠出金を8,627千円追加しています。

第8款 保健事業費 7,072千円の減額
執行見込みにより、特定健康診査等事業費を3,783千円、疾病予防費を1,635千円、保健衛生普及費を1,654千円減額しています。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出177,481千円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ6,980,413千円となります。
よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成28年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）

平成28年度曾於市後期高齢者医療特別会計補正予算第4号を提案しますが、今回の補正予算は、今後の執行見込みによるもので、歳入については、後期高齢者医療保険料を3,260千円追加し、一般会計繰入金を4,378千円減額するものが主なものです。

歳出については、執行見込みにより、後期高齢者医療広域連合納付金を2,162千円追加するものが主なものです。

歳 入

- 第1款 後期高齢者医療保険料 3,260千円の追加
収入見込みにより、現年度分特別徴収保険料を34,456千円減額し、現年度分普通徴収保険料を37,098千円追加するものが主なものです。
- 第2款 使用料及び手数料 69千円の追加
収入見込みにより、現年度分督促手数料を60千円追加するものが主なものです。
- 第3款 繰入金 4,378千円の減額
交付決定により、保険基盤安定繰入金を4,337千円、人件費繰入金を267千円減額し、事務費繰入金226千円追加しています。
- 第4款 繰越金 2,852千円の追加
前年度繰越金を2,852千円追加しています。
- 第5款 諸収入 175千円の減額
収入見込みにより、保険料還付金を200千円減額するものが主なものです。

歳 出

- 第1款 総務費 334千円の減額
執行見込みにより、総務管理費を67千円、後期高齢者医療総務職員給を267千円減額しています。
- 第2款 後期高齢者医療広域連合納付金 2,162千円の追加
執行見込みによる被保険者保険料の追加と、交付決定による保険基盤安定分担金の減額により、後期高齢者医療広域連合納付金を2,162千円追加しています。
- 第3款 諸支出金 200千円の減額
執行見込みにより、保険料還付金を200千円減額しています。

以上で概要の説明を終わりますが、歳入歳出1,628千円を追加し、予算総額は、歳入歳出それぞれ560,597千円となります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成28年度曾於市介護保険特別会計補正予算（第4号）

平成28年度曾於市介護保険特別会計補正予算第4号を提案しますが、今回の補正予算は、保険給付費等の執行見込みによるもので、歳入については、保険料を14,174千円、前年度繰越金を141,017千円追加し、国庫支出金を58,444千円、支払基金交付金を56,374千円、県支出金を32,620千円、繰入金を90,622千円減額するものが主なものです。

歳出については、執行見込みにより保険給付費を197,660千円、地域支援事業費を9,397千円減額し、基金積立金を70,168千円、予備費を62,665千円追加するものが主なものです。

歳 入

第1款 保険料 14,174千円の追加

収入見込みにより、第1号被保険者保険料を14,174千円追加しています。

第2款 使用料及び手数料 89千円の追加

収入見込みにより、督促手数料を89千円追加しています。

第3款 国庫支出金 58,444千円の減額

収入見込みにより、国庫負担金は、介護給付費負担金を32,882千円減額し、国庫補助金は、調整交付金を22,553千円減額するものが主なものです。

第4款 支払基金交付金 56,374千円の減額

収入見込みにより、介護給付費交付金を55,345千円、地域支援事業支援交付金を1,029千円減額しています。

第5款 県支出金 32,620千円の減額

収入見込みにより、県負担金は、介護給付費負担金を31,358千円減額し、県補助金は、地域支援事業交付金（包括的支援事業・任意事業）を1,045千円減額するものが主なものです。

第6款 繰入金 90,622千円の減額

一般会計繰入金は、介護給付費繰入金を24,708千円、その他一般会計繰入金を3,686千円減額するものが主なもので、基金繰入金は、介護保険基金繰入金を60,000千円減額しています。

第7款 繰越金 141,017千円の追加

前年度繰越金を141,017千円追加しています。

第8款 諸収入 1,174千円の追加

延滞金を90千円、返納金を1,084千円追加しています。

第9款 分担金及び負担金 606千円の減額
地域支援事業負担金を606千円減額しています。

第10款 財産収入 168千円の追加
介護保険基金利子を168千円追加しています。

歳 出

第1款 総務費 3,686千円の減額
執行見込みにより、一般管理事務費を9千円、職員給を3,438千円減額するものが主なものです。

第2款 保険給付費 197,660千円の減額
執行見込みにより、特例居宅介護サービス給付費を665千円、地域密着型介護サービス給付費を107,320千円、介護予防サービス計画給付費を684千円、特定入所者介護サービス費を6,544千円、特例特定入所者介護サービス費を127千円追加し、居宅介護サービス給付費を140,000千円、施設介護サービス給付費を133,000千円、介護予防サービス給付費を40,000千円減額するものが主なものです。

第3款 地域支援事業費 9,397千円の減額
執行見込みにより、介護予防普及啓発（健康教育）事業を3,900千円、訪問給食サービス事業を1,300千円、認知症対応型共同生活介護事業所の家賃等助成事業を3,164千円減額するものが主なものです。

第4款 基金積立金 70,168千円の追加
決算見込みにより、介護保険基金積立金を70,168千円追加しています。

第5款 公債費 1,110千円の減額
一時借入金利子を1,110千円減額しています。

第6款 諸支出金 3,024千円の減額
執行見込みにより、第1号被保険者保険料還付金を3,024千円減額しています。

第7款 予備費 62,665千円の追加
財源調整により、予備費を62,665千円追加しています。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出82,044千円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ5,483,038千円となります。
よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成28年度曾於市公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）

平成28年度曾於市公共下水道事業特別会計補正予算第5号を提案しますが、今回の補正予算は、事業費の確定によるもので、歳入については、市債6,900千円減額するものが主なものです。

歳出は、執行見込みにより下水道建設事業工事費を3,112千円減額するものが主なものです。

歳 入

第1款 分担金及び負担金 1千円の減額

収入見込みにより、受益者負担金過年度分を1千円減額しています。

第2款 使用料及び手数料 419千円の追加

収入見込みにより、下水道使用料を409千円、登録手数料を10千円追加しています。

第7款 市債 6,900千円の減額

事業費の執行見込により、公共下水道事業債を5,100千円、資本費平準化債を1,800千円減額しています。

歳 出

第1款 公共下水道事業費 5,793千円の減額

執行見込みにより、下水道総務費を1,333千円、下水道建設事業工事費を3,112千円減額するものが主なものです。

第2款 公債費 689千円の減額

地方債償還利子1,276千円の減額が主なものです。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出6,482千円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ203,346千円となります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成28年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算（第3号）

平成28年度曾於市生活排水処理事業特別会計補正予算第3号を提案しますが、今回の補正予算は、事業費の確定によるもので、歳入については、収入見込みにより分担金及び負担金を379千円追加し、事業費確定により国庫補助金を7,844千円減額するものが主なものです。

歳出については、事業費確定により施設整備費を10,982千円減額するものが主なものです。

歳 入

第1款 分担金及び負担金 379千円の追加

収入見込みにより、浄化槽設置工事分担金を380千円追加するものが主なものです。

第2款 使用料及び手数料 1,477千円の減額

収入見込みにより、浄化槽使用料を1,515千円減額するものが主なものです。

第3款 国庫支出金 7,884千円の減額

事業費確定により、浄化槽市町村整備推進事業費国庫補助金を7,884千円減額しています。

第4款 県支出金 357千円の減額

事業費確定により、浄化槽市町村整備推進事業費県補助金を357千円減額しています。

第5款 財産収入 13千円の減額

収入見込みにより、生活排水処理事業基金利子を減額しています。

第6款 繰入金 2,460千円の減額

収入見込みにより、一般会計繰入金を減額しています。

第7款 繰越金 2,790千円の追加

前年度繰越金を2,790千円追加しています。

第8款 諸収入 23千円の追加

使用料に係る延滞金を23千円追加しています。

第9款 市債 3,000千円の減額

事業費の執行見込みにより、下水道事業債を3,000千円減額しています。

歳 出

第1款 総務費 430千円の減額

執行見込みにより、一般管理事務費を430千円減額しています。

第2款 生活排水処理事業費 10,982千円の減額

事業費確定により、施設整備費を10,982千円減額しています。

第3款 公債費 547千円の減額

地方債償還金利子を547千円減額しています。

第4款 予備費 40千円の減額

予備費を40千円減額しています。

以上で、概要の説明を終わりますが、歳入歳出11,999千円を減額し、予算総額は、歳入歳出それぞれ102,171千円となります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成28年度曾於市笠木簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）

平成28年度曾於市笠木簡易水道事業特別会計補正予算第5号を提案しますが、今回の補正は、事業費確定によるもので、歳入については、分担金及び負担金を8,716千円、使用料及び手数料を190千円、諸収入を4,273千円、繰越金を9,769千円追加し、繰入金を2,624千円、市債を13,000千円減額するものです。

歳出については、事業費確定による簡易水道事業費を7,558千円減額するものが主なものです。

歳 入

第1款 分担金及び負担金 8,716千円の追加

給水開始件数の確定により、給水区域内受益者地元分担金を7,723千円、加入者負担金を993千円追加しています。

第2款 使用料及び手数料 190千円の追加

給水開始件数の確定により、設計審査手数料を122千円、水道使用料過年度分を69千円を追加し、水道施設電柱設置料を1千円減額しています。

第3款 繰入金 2,624千円の減額

事業費の確定により、一般会計繰入金を2,624千円減額しています。

第4款 諸収入 4,273千円の追加

収入見込みにより、消費税還付金を4,270千円、遅延損害金を2千円、延滞金1千円追加しています。

第5款 市債 13,000千円の減額

事業費の確定により、簡易水道事業債を13,000千円減額しています。

第6款 繰越金 9,769千円の追加

前年度繰越金を9,769千円追加しています。

歳 出

第1款 簡易水道事業費 7,558千円の減額

事業費確定により、簡易水道建設事業を5,414千円減額するものが主なものです。

第2款 公債費 2,624千円の減額

事業費確定により、地方債償還金利子を2,137千円、一時借入金利子487千円減額しています。

第3款 予備費 17,506千円の追加

事業費確定により、予備費を17,506千円追加しています。

以上で、概要の説明を終わりますが、補正予算は、歳入歳出7,324千円を追加し、予算総額は、歳入歳出それぞれ206,694千円となります。

よろしくご審議賜りますようお願いいたします。

平成28年度曾於市水道事業会計補正予算（第5号）

平成28年度曾於市水道事業会計補正予算第5号を提案しますが、今回の補正予算は、収益的収入については、収入見込みにより、給水収益を5,300千円、補助金を38,192千円減額するものが主なものです。

収益的支出については、執行見込みにより、人件費を28,236千円、動力費を5,000千円減額するものが主なものです。

資本的収入については、企業債を5,000千円減額し、資本的支出については、執行見込みにより、配水設備改良費を13,070千円減額するものが主なものです。

収 益 的 収 入

第1款 水道事業収益 1,206千円の減額

収入見込みにより、給水収益を5,300千円、補助金を38,192千円、預金利息を221千円減額し、給水負担金を2,184千円、資本費繰入収益を39,284千円、雑収益860千円追加しています。

収 益 的 支 出

第1款 水道事業費用 47,041千円の減額

原水及び浄水費は、執行見込みにより、委託料を2,417千円、動力費を5,000千円減額するものが主なものです。

配水及び給水費は、執行見込みにより、委託料を1,015千円減額し、修繕料4,000千円追加するものが主なものです。

総係費は、人件費を28,236千円、報償費を390千円減額するものが主なものです。

減価償却費は、有形固定資産減価償却費を701千円追加しています。

資産減耗費は、固定資産除却費1,827千円を減額しています。

営業外費用は、企業債利息を1,031千円、消費税及び地方消費税を5,631千円を減額しています。

資 本 的 収 入

第 1 款 資本的収入 5, 0 0 0 千円の減額

事業費の執行見込みにより、企業債を5, 0 0 0 千円減額しています。

資 本 的 支 出

第 1 款 資本的支出 1 3, 8 5 6 千円の減額

執行見込みにより、取水設備改良費を7 3 2 千円、配水設備改良費を1 3, 0 7 0 千円減額するものが主なものです。

よろしくご審議賜りますよう、お願いいたします。